

# 少年センターだより

発行



日野町少年センター

日野町河原1-1

TEL0748-53-1325

<https://syonen.jp>

日野町少年センター



10月に、2022年度の全国の小中学校のいじめ・不登校人数が、文部科学省から発表されました。いじめについては、「先生方がきめ細かく、あらゆるトラブルをいじめではないかという観点で見ているので、数字が増加していることは、一定の評価ができることだ」と新聞では報道されていました。

しかし、不登校については、全国で30万人弱の子どもたちがいることがわかり、2021年度から5万人以上の増加であると発表されました。不登校への理解が深まり、無理して学校に行く必要がないとの考えの保護者が増えたことに加え、新型コロナウイルス禍で生活リズムが乱れやすい状況が続いたことが増加の要因とみられると報道機関が伝えていました。

そこで今回、日野町の状況を安田教育長と、赤尾不登校対応担当課長に話を聞いてみました。



安田教育長(左)赤尾不登校対応担当課長(中央)

## 4月に「不登校対応担当課長」が設置されました

問：「不登校対応担当課長」を設置された理由をお聞かせください

答：近年、子どもたちの自己肯定感や対人スキルの低さが指摘されてきました。そこに、コロナ禍で外出や人とのコミュニケーションへの制限があった中で、子どもも大人も漠然とした不安を大きくさせました。こういった多くのことが関係して、不登校の増加が全国的にみられるようになりました。本町においても、不登校は増加傾向にあり、早急に抜本的な対応や支援が必要だと考えました。そのためには、これまでの不登校への対応に加えて、学校そのもののあり方を見直し、「誰もが行きたくくなるような魅力ある学校づくり」が必要だと考えました。そこで、これまでの不登校の子どもたちの自立に向けた支援に加えて、不登校の未然防止、早期発見に学校や関係機関と連携した取組を充実させるため、小学校教員の経験があり、臨床心理士でもあり、教育と心理の両面から支援をしていくスタッフを置くこととしました。

## 日野町では新たな取組が始まっています

問：不登校へはどんな対応をしておられますか？

答：不登校対応の大前提は、学校に何らかの理由で行きづらさ・傷つきや困り感を抱えることによって生じていることを念頭におき、まずは未然防止として、子どもたちが行きたくなる安心・安全で魅力ある学校づくりが重要となります。そこで、不登校対応で成果をあげておられる岡山県総社市の「包括的生徒指導」を日野町にも導入することとしました。これは「ポジティブな行動介入と支援」



(PBIS)、「社会性と情動の学習」(SEL)、「ピアサポート」(仲間同士で支え合ったり、助け合う活動)、「協同学習」(仲間同士で自分の考えを交流し合い、学びを深める活動)の4つの取組から成り立っています。  
(次ページへ続く)

日野町では、まず「ポジティブな行動支援と介入」(PBIS)から実践を開始しています。早期発見・早期支援としては、子どもの様子を日々丁寧に観察をしたり、欠席が続いたり、調子が悪い様子が見えれば、早期に教育相談や家庭訪問などで、子どもの話を聞いたり、関係者でケース会議をし、不登校の理由や具体的な支援方法について検討しています。不登校になっている子どもたちや保護者の方には、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー、子育て・教育相談センター、サポートスクール「ステップ」など専門の関係機関と連携して支援にあたっています。また「不登校の子どもさんをもつ保護者同士で語り合う会」を月1回開催し、互いの思いを交流する場にしています。

## 誰もが行きたくなる学校を目指して

問：誰もが行きたくなる学校づくりとはどのような取組ですか？



答：前述したように、日野町では「誰もが行きたくなる学校をつくろう」を合言葉に全小中学校で「包括的生徒指導」の取組を開始しています。今年度は「ポジティブな行動支援と介入」(PBIS)から実践を開始しています。PBISとは、子どもたちの良い言動を増やし、問題を減らす、子どもたちの自己肯定感を高める、学級を安心安全で、先生との関係も良くできるというもの

です。取組方の基本は、子どもの良い言動を引き出すための工夫を教師がし、子どもの良い言動が見られたら、肯定的な注目や声掛けなどをするという、とてもシンプルなものです。この取組を開始してまだ日が浅いのですが、明らかに学級の雰囲気が明るくなった、前向きな子どもたちの姿が増えた、職員室でも前向きは声が増えたなど、子どもにも先生方にも良い変化が起きています。今後はPBISに加えて、SELなどを順に導入していき、「誰もが行きたくなる学校」になるよう、教育委員会、学校、関係機関とが連携して取り組んでいく予定です。

## 子どもたちに「がんばったね」などの前向きな声掛けをお願いします！

問：地域や保護者はどんな協力をすればよいのですか？

答：先にも述べましたが、学校では子どもたちの良い言動を引き出し、それを認めたり褒めたりするというPBISに取り組んでいます。また、日野町教育委員会では8月下旬から9月初旬にかけて全小中学校の保護者の皆様を対象に①どんな子どもさんに育って欲しいと思いますか、②子どもさんの良いところはどんなところですか、③どのように褒めますかというアンケートを実施しました。約半数の方からご回答いただきました。褒め方として「今の〇〇いいね」「すごいよ」「優しいね」など、とても素敵な褒め方の回答が多くありました。このような取組は、学校だけでなく、保護者の皆様、地域の皆様にもご協力をいただきたいです。子どもたちの少しでもいいなと思う言動がみられたら、

「すごいね」「上手だね」「うれしいよ」「優しいね」などの声掛けをぜひお願いします。また、そういった子どもの良い言動については、学校や教育委員会にもお知らせいただくとありがたいです。町全体で「前向き・ポジティブ」に子どもたちに声をかけあえるようになると素敵だなと思います。



# 金曜日の放課後は 図書館へ！

ともに歩む力強い味方 Vol.3

## 日野町立図書館

金曜日の夕方に図書館の視聴覚室に行ってみると、10名弱の中・高校生が熱心に学習をしていました。ただ、黙々と学習しているだけでなく、教え合いがあったり、本を読んだり、いろいろなことを話したりしていました。館長さんに話を聞いてみると、「学びと交流の居場所」として視聴覚室を開放したら、中・高校生が徐々に集まってきました。集まった子どもたちにメッセージを書いてもらおうと、「勉強を教えてくれる先生にいてほしい」「講演会があったらおもしろいかも」などの声が寄せられたとおっしゃっていました。図書館としては、子どもたちが、自ら考え、学び、協力して活動していく場所を提供していきたいと話されていました。同時に、そんな子どもたちを支援してくれるスタッフも求めていると話されていました。

図書館では、このほかにも「図書館クラブ」も運営されていて、子どもたちが自ら考えたイベントを運営していく活動もされています。これらの活動が、地域の活動の中に溶け込み、ともに動いていくことで、若者に達成感が育まれ、未来の日野町の力となってくれることを願っています。



(飲食は視聴覚室のみ)

利用  
無料

飲食  
OK

Wi-Fi  
あり

### つぶやき

朝のあいさつ運動をしていて、いろいろな子に出会いますが、みんなに楽しい一日を過ごしてほしいと願って活動を続けています。

近年、学校に行きづらい子どもが増えてきていると聞きます。病気や人間関係、なんらかの挫折体験が原因となっていることが多いそうです。このような状況が長く続くと学校に行きたいという気持ちがあっても、めまい、倦怠感、息苦しさ等の体の異変が起こるそうです。自分自身、人間関係等で悩むこともたくさんありますが、学生時代の信頼できる仲間の存在が今も心の支えとなって、生きていくための原動力となっています。



ご家庭でも、食事の時などには子どもの声を聞いてあげるなど、寄り添っておられると思いますが、我々地域の大人も、信頼できる大人として、信頼できる友人として、近くで見守っていきたくと思っています。

少年補導委員 遠藤 鉄夫

## 麻薬・覚醒剤・大麻 乱用防止運動 10月1日～11月30日 あふれる情報に惑わされないで。

人気俳優が薬物所持で逮捕され、中学時代にそのとりこになったことがわかり、日本中を震撼させました。薬物には、大人、子ども、都会、田舎は関係ないということがわかりました。覚せい剤や麻薬、大麻、危険ドラッグなどの薬物の乱用は、あなたの健康やあなたのまわりの人々に計り知れない悪影響をもたらします。たとえ1回だけでも「乱用」です。絶対に使わないでください。



### 氏郷まつりで啓発活動

10月28日(土)に行われた、氏郷まつり“楽市・楽座”2023で少年補導委員会が薬物乱用防止啓発を行いました。少年補導委員が啓発パネルを使いながら薬物乱用の怖さを説明しました。不安定な天気の中でしたが、熱心に耳を傾ける若者がたくさんいました。また、クイズやゲームで、楽しみながら薬物乱用防止について学んでもらいました。



## 滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間で啓発

県では11月1日～30日までの間を「滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間」と定め、子ども・若者の社会的自立支援の促進や有害環境浄化等の啓発活動が行われました。

少年センターでは、11月10日(金)フレンドマート日野店において、少年補導委員会、東近江警察署、青少年育成町民会議、日野高校ハイスクール・セーフティ・リーダーが協力し啓発グッズを配りながら啓発活動を行い、買い物帰りのお客さんに子ども・若者の健全育成を呼びかけました。



### 少年補導功労者として表彰

10月7日(土)に行われた「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会の席上で、大宗正和気さんが少年補導功労者として滋賀県警察本部長・滋賀県少年補導員会連絡協議会長連名表彰を受賞されました。

大宗さんは平成26年から少年補導委員を務められ、街頭パトロールやあいさつ運動などに積極的に活動しておられます。



## ひとりで悩まないで まずは相談を！

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○来所相談 ○電話相談 ○メール相談  
○来所・電話時間：月～金9:00～16:30

日野町少年センター  
(日野町勤労福祉会館2階)  
電話 0748-53-1325  
E-mail hino@syonen.jp

日野町少年センター

